



東広島市議会 広報広聴ビジョン

はじめに

地方分権の動きのなか地方自治体の業務内容は、従来の国からの機関委任事務ではなく住民自治による政策形成が中心となり、地方自治体及び地方議会のもつ責任は大きくなっています。

一方で東広島市議会が令和4年に実施した「東広島市議会広報広聴に関するアンケート」においては、議会及び議員に対する市民の皆様の関心の低さを示す結果が如実に表れ、全国的にも投票率の低下及び各種地方選挙における無投票の増加等の問題が顕在化し、人口減少も相まって地方自治の未来が危惧されます。

平成25年に制定された東広島市議会基本条例では、地方自治の二代表制の一翼を担う議会として、議会活動及び議員活動を充実させるために必要な理念及び事項が定められました。

この条例には、市民の皆様の地方自治への参画を促すため、広報及び広聴に関する事項も規定されていますが、その理念が具体化出来ていないのが実情です。

そこで、議会基本条例に規定された理念を実現するために、東広島市議会広報広聴ビジョンを策定し、住民参加による自治の実現並びにその先にある市民の皆様の幸福を目指してまいります。

東広島市議会基本条例に掲げる理念

市民に開かれた市民参加型議会の実現

「市民に開かれた市民参加型議会の実現」に向けて、東広島市議会を「知らない」という層から「知っている」、「興味がある」、「理解している」、「参加している」という層に変容いただけるよう、各層に応じたメディアミックスにより広報広聴を推進します。

「市議会を知らない方々」→「市議会を知っている方々」→「市議会に興味・関心がある方々」→「市議会の活動内容を理解している方々」の各層に着目した広報を戦略的に展開します。

□ 各層にアプローチする広報広聴のイメージ



01. 市議会を知っていただく取組み

目指す姿 「知らない」→「知っている」へ

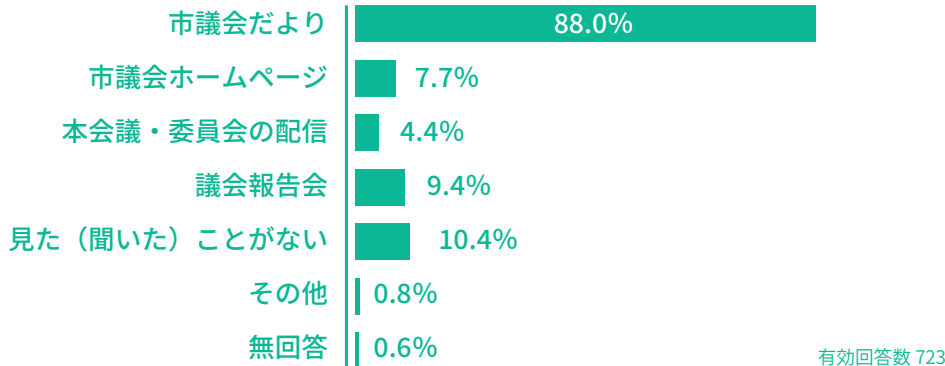
市議会で何が議論されているのか、市議会が何を決めているのか、市議会がこういった活動をしているのか、若年層から高齢者まで幅広く、多くの市民の皆様を知っていただくことを目指します。

□ 現状

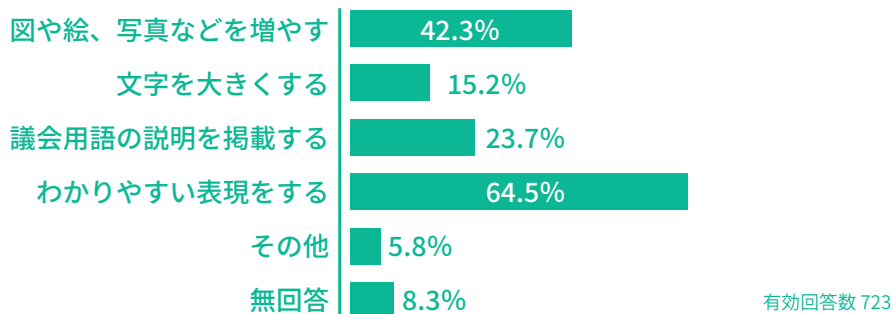
市議会だよりのほか、市議会ホームページ、本会議・各委員会映像の配信（YouTubeでのライブ・アーカイブ、ホームページでの本会議録画映像）、市民ポータルサイトでの情報発信や議会報告会の開催等を行っていますが、令和4年に実施した市民アンケートの結果、市議会だよりを読んだことがあるとの回答は88%にのぼる一方、市議会ホームページを見たことがあるとの回答は7.7%、本会議・各委員会の配信を見たことがあるとの回答は4.4%にとどまっています。

また、市議会だよりに必要な工夫として最も多かった回答が「わかりやすい表現をする」で64.5%にのぼっています。

〔市民アンケート〕見たことや聞いたことがあるもの



〔市民アンケート〕市議会だよりを読みやすくするために必要な工夫



□ 課題

多くの方が利用している SNS を活用し、紙面に限りがある市議会だより（紙）から市議会ホームページ・YouTube など（デジタル）へ誘導して市議会の情報をわかりやすく発信し、知っていただく仕組みづくりに取り組む必要があります。また、市議会だよりのレイアウト・表現などを見直し、手に取っていただきやすい、読みやすい市議会だよりとする必要があります。

□ 取組方針

議会―執行機関の政策サイクル（課題取り上げ⇒提案⇒審議⇒採決⇒事業執行の各過程）を見える化し、その後の事業評価も含めた「政策サイクル」を市民の皆様にわかりやすくお伝えしていきます。

議会報告会等のあり方について議論を続け、市民の皆様の意見をより広くお聴きし、かつ市の施策に繋げられる効果的な方法を検討していきます。

- ・市議会だよりをわかりやすくします。
- ・ホームページをわかりやすくします。
- ・若年層への情報発信を強化します。
- ・プッシュ式の情報発信を推進します。

02. 市議会への関心を持っていただく取組み

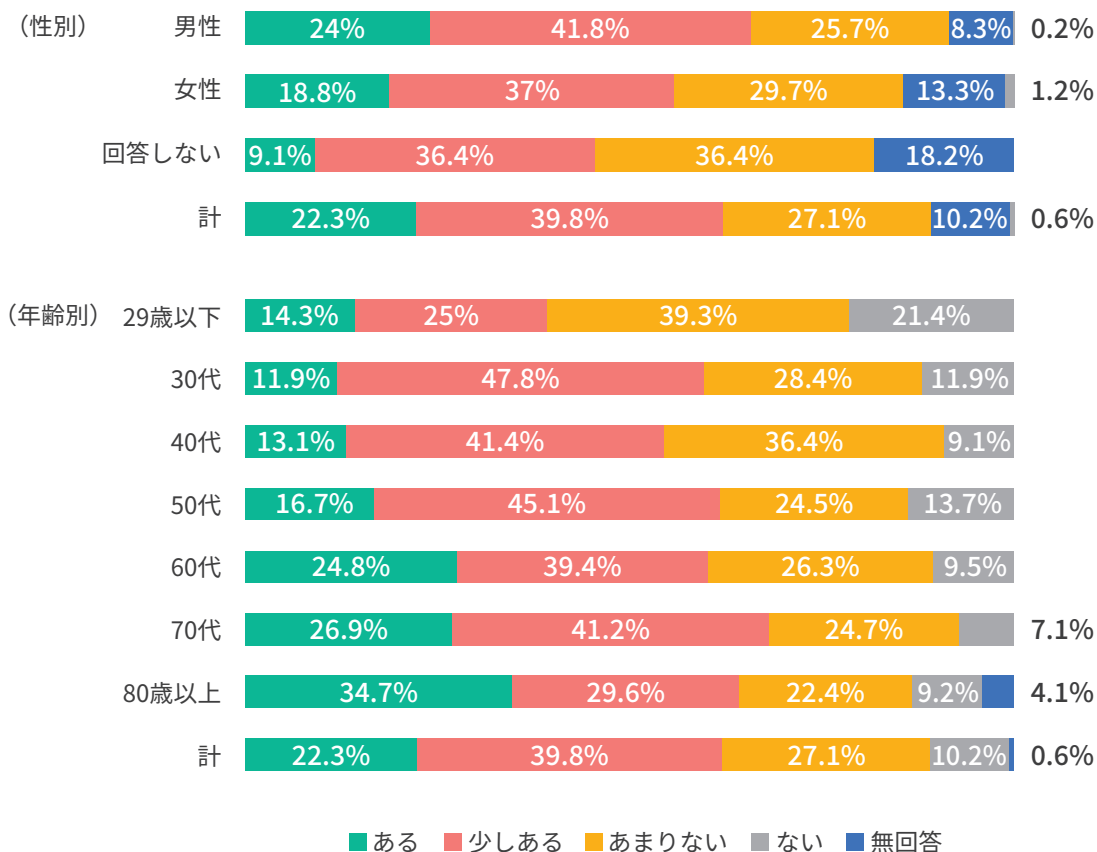
目指す姿 「知っている」→「興味がある」へ

市民の皆様が市議会に興味・関心を持っていただくことを目指します。

□ 現状

広報広聴に関する市民アンケートの結果、62.1%の方が市議会への興味・関心を「ある」または「少しある」と回答されました。しかし、アンケートの回答率が約3割であり、未回答の方は市議会への興味・関心がないと考えられることを考慮すると、市民の方の市議会への関心は低いと言えます。

【市民アンケート】市議会に関心はありますか



市民アンケート「市議会に興味・関心がない理由」自由記述（抜粋）

- ・ 活動内容を知る機会が少ない。（40代・男性）
- ・ 自分の生活に影響があるかどうかの情報が入ってこないから（40代・男性）
- ・ 議会議員が何をしているのか不明（40代・男性）
- ・ 今、知っている議員がいない。（80歳以上）

□ 課題

特に若年層の関心度が低く、市議会に興味・関心を持っていただくための動機づけとなる取り組みが必要です。興味・関心がない理由の1位は「議員がどんな人か知らない」であることから、市議会での取り組みのほか、議員個々の活動を情報発信する必要があると考えられます。

□ 取組方針

市議会をより身近で親しみやすく感じていただけるよう、議会がどのようなところで、何をしているかをお伝えします。

- ・ 議員の認知度を向上させます。
- ・ 若い世代に政治に関心を持っていただける取組みを実施します。

03. 市議会を理解していただく取組み

目指す姿 「興味がある」→「理解している」へ

市民の皆様在市議会の活動内容を理解していただき、自発的に市議会情報を検索いただけることを目指します。

□ 現状

市議会だよりでは、議会で審議した議案について、議案の概要だけでなく議員からの質疑・執行部の答弁や議員が行った討論などを併せて掲載しています。他にも市議会では議会運営委員会や各常任委員会、全員協議会、広報広聴委員会等で協議や議論などが行われていますが、その協議や議論の経過などは、あまり市民の皆様には知られていません。

□ 課題

市議会を知っていただき、さらに市議会に興味・関心を持っていただいた方が自発的に市議会の情報を取得し、その内容を理解していただけるよう、市議会情報を市民の皆様が受動的に情報を受け取るプッシュメディアだけでなく、能動的に情報にアクセスしていただくプルメディアにより届けるとともに、よりわかりやすい情報発信に努める必要があります。

□ 取組方針

議会の合意形成には、様々な方法があります。市議会としての政策立案や、合意に至ったそのプロセス全体を市民の皆様にはわかりやすく解説していきます。

市の事業の源泉は市民の皆様の税金であることを念頭に、市民の立場に立った市議会の情報発信を行います。

本会議及び委員会の議論の方法を、傍聴される方にとってよりわかりやすいものになるよう改良していきます。

04. 市議会に参加していただく取組み

目指す姿 「理解している」→「参加している」へ

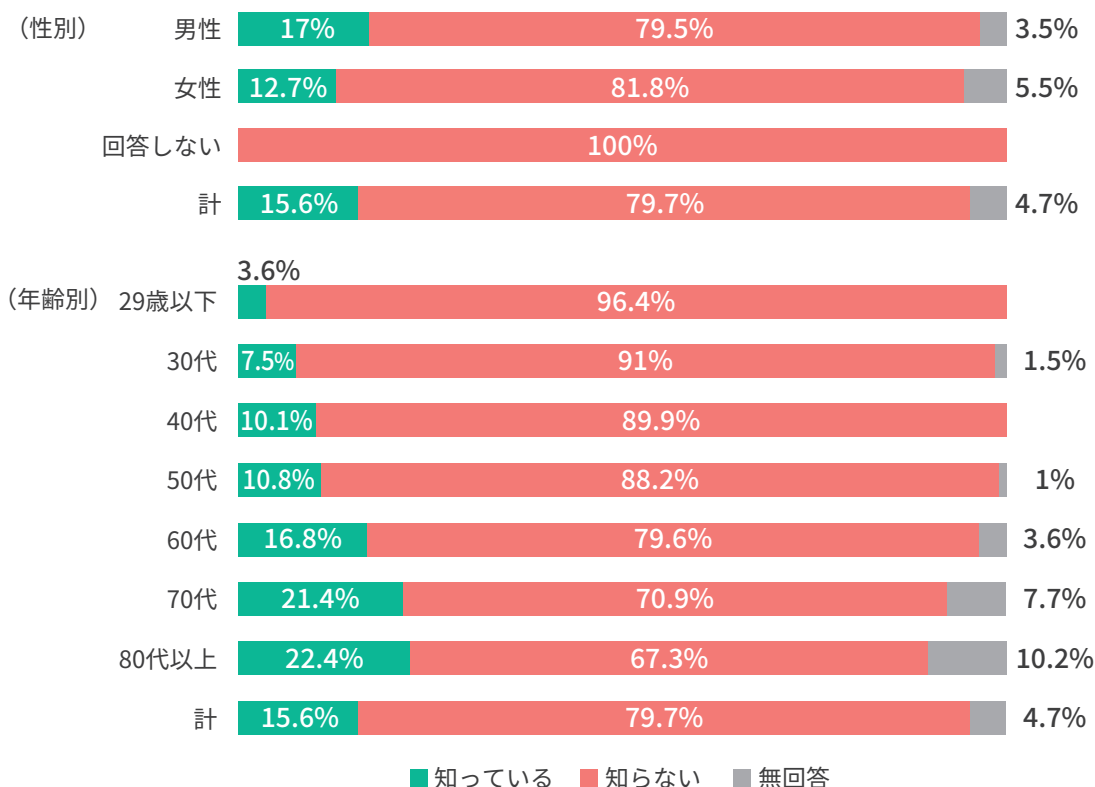
議会報告会などの市議会の活動に、多くの市民の皆様に参加いただけることを目指します。

また、選挙において、市民の皆様は、議会や議員の活動を理解した上で積極的に投票していただけることを目指します。

□ 現状

常任委員会ごとに、原則毎年開催している議会報告会の中で市議会の活動を報告し、参加した市民の皆様との意見交換を行っています。参加者へのアンケートでは、「市議会議員との意見交換は意義がある」、「参加してよかった」などの声をいただいておりますが、市民アンケートの結果、79.7%の方が議会報告会のことを「知らない」と回答しています。市議会だより・市議会ホームページのほか、市が発行する広報紙、市民ポータルサイトでもお知らせしていますが、認識度は非常に低い状況です。

〔市民アンケート〕議会報告会を知っていますか



□ 課題

議会報告会の参加者を増やす取組みや、市民が参加できるコンテンツの構築を検討する必要があります。

□ 取組方針

市民の皆様に参加いただけるコンテンツを充実させます。

東広島市議会広報広聴の行動指針

東広島市議会基本条例に掲げる「市民に開かれた市民参加型議会の実現」という理念に基づき、このビジョンには東広島市議会広報広聴の目指す姿・取組内容を掲げました。この目指す姿の実現・取組内容の実施を通じ、「市民に開かれた市民参加型議会の実現」を果たすため、市民の各層に戦略的にアプローチする広報広聴活動を推進していきます。